

2022年1月26日

報道関係各位

**薬用作物(生薬)産地化推進のための行政担当者情報交換会**  
**オンライン開催のご案内**  
**薬用作物産地支援協議会**

薬用作物産地支援協議会（東京都文京区）では、農林水産省の補助事業「茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業」を活用した取り組みの一環として、「薬用作物(生薬)産地化推進のための行政担当者情報交換会」を開催します。

薬用作物は、耕作放棄地・中山間地域等の有効利用に貢献する作物として期待されると同時に、医薬品の原料確保のために重要視されています。薬用作物産地支援協議会では、関係機関や団体等と連携し、生産者側と実需者側とのマッチング、栽培技術指導者の育成、各種情報の発信等を実施し、各地域における産地化の取組を促進しています。

今回開催する行政担当者を対象とした情報交換会は、先進的な取り組みをされている産地の紹介及び意見交換を通じて、薬用作物の産地化を促進することを目的としたものです。

- ◆ 本会は、昨今の新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、Zoomによるオンラインのみでご参加いただけます。
- ◆ 詳細は添付の紙面をご参照ください。

以上

---

【お問合せ先】

薬用作物産地支援協議会 事務局（飯田 修）

TEL：03-6264-8087

FAX：03-6284-2534

E-mail：soudan@yakusankyo-n.org

## 薬用作物（生薬）産地化推進のための行政担当者情報交換会

【開催日時】 2022年2月9日（水）13：30～16：00

【申し込み方法】 添付の申込書を FAX していただくか、申込書記載内容を下記アドレスまでメールにてお知らせください。

開催1週間前をめぐり、いただいたメールの返信にて会議 URL とパスワードを送信します。

FAX 03-6284-2534

E-mail : soudan@yakusankyo-n.org

### 【プログラム】

#### 1. ご挨拶

#### 2. 奈良県漢方のメッカ推進プロジェクトについて

演者：奈良県産業・観光・雇用振興部 次長 今仲 進 先生

奈良県食と農の振興部 農業水産振興課 主任主査 虎太 有里 先生

内容：飛鳥・奈良時代より漢方にゆかりの深い奈良県ならではの蓄積を活かし、生薬（薬用作物）の生産拡大から、関連商品・サービスの創出、漢方の普及までを5つのステージに分け、部局を横断して一貫した体制で総合的に取り組む「漢方プロジェクト」が令和4年で10周年を迎える。奈良県のこれまでの取り組みについて紹介する。

#### 3. 富山県における薬用植物の栽培支援体制

演者：富山県厚生部薬事総合研究開発センター 薬用植物指導センター主任研究員 田村 隆幸 先生

内容：富山県の医薬品産業は300年以上の歴史を有するが、その原料となる薬用植物の栽培については課題がまだ多い。近年は栽培支援体制の強化を図るため、県では農林水産部と厚生部の連携によるプロジェクトチームを立ち上げ、シャクヤクを中心に苗の安定供給や省力多収栽培技術の確立等に取り組み、生産拡大を推進している。

#### 4. 意見交換会

農林水産省による薬用作物関連の補助事業に関するご質問、講演内容ほか事前にいただいた質問についての質疑応答を含む。

【お願い】①Zoomは、ご所属とご氏名が表示されるよう設定をお願いします。

②オンライン参加の方は、下記アドレスより配布資料をダウンロードした上でご聴講ください（2月1日から掲載する予定です）。

<https://www.yakusankyo-n.org/event/i2022.htm>

下記をご記入のうえ FAX でお送りいただくか、  
下記内容をメールにてお知らせください。

## 「薬用作物(生薬)産地化推進のための行政担当者情報交換会」

### 参加申し込み(報道関係)

※回線の都合上、開催前日の 16 時までにご返信をお願いします。

貴社名

---

ご芳名

---

メールアドレス

---

※ 1 社から複数名でご参加いただく際は、回線確保の都合上、各自でお申し込みください

※ お知らせいただいたメールアドレスに、Zoom のご案内をお送りします。

お申し込み先 薬用作物産地支援協議会事務局  
担当：飯田 修

FAX 03-6284-2534

メール soudan@yakusankyo-n.org